



## 「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業 2025」に初選定 ～温室効果ガスの削減に向けた着実な取り組みが評価されました～

株式会社PALTAC(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:吉田 拓也、以下「当社」)は、温室効果ガス削減に向けた取り組みとその実績が評価され、英 Financial Times 誌および独 Statista 社が共同で実施する国際調査「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業 2025 (Asia-Pacific Climate Leaders 2025)」に初めて選定されました。

### 【調査の概要】

本調査は、アジア太平洋地域に本社を置く企業を対象に、温室効果ガス排出量の削減状況と情報開示の透明性を総合的に評価するものです。主な評価項目は、2018 年から 2023 年にかけての売上高に対する Scope1<sup>\*1</sup> および Scope2<sup>\*2</sup> 排出量の削減率であり、これに加えて Scope3<sup>\*3</sup> 排出量の開示状況、CDP<sup>\*4</sup> による評価スコア、SBTi<sup>\*5</sup> による削減目標の認定状況なども評価項目に含まれます。

これらの指標をもとに、削減への貢献が特に優れている上位 350 社が「気候変動リーダー企業」として選定されます。

### 【当社の評価ポイント】

今回の選定にあたっては、当社が掲げる温室効果ガス排出量削減目標に対する着実な進捗が主な評価ポイントとなったと考えています。

当社は、Scope1 および Scope2 の排出量について、以下の目標を設定しています。

- ・2030 年度:CO2 排出量 50%削減(基準年度 2020 年度比)
- ・2050 年度:カーボンニュートラル(実質ゼロ)の達成

これらの目標に向けて、環境配慮型車両への切り替えや再生可能エネルギーの導入など、具体的な施策を推進しています。その結果、2025 年 3 月期には、基準年度比で 18.7%<sup>\*6</sup> の削減(速報値)を達成しており、着実に進捗しています。

当社は、「人々の豊かで快適な生活の実現」に向けて、「持続可能な環境・社会に向けた共生・共創」を重要課題(マテリアリティ)の一つとして位置づけ、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。今後は Scope1・2 の削減をさらに進めるとともに、バリューチェーン全体を対象とする Scope3 においても、配送効率化などを通じて CO2 排出量の削減に努めてまいります。

- \*1 Scope1：燃料使用等に伴う事業者自らによる直接排出
- \*2 Scope2：他社から供給された電気や熱等の使用に伴う間接排出
- \*3 Scope3：Scope1・2 以外のバリューチェーン全体で排出される間接排出
- \*4 CDP(Carbon Disclosure Project)：企業や自治体を対象とした世界的な環境情報開示システムを運営する国際環境非営利団体。
- \*5 SBTi(Science Based Targets initiative)：CDP、国連グローバルコンパクト、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)が共同で設立した、企業の CO2 排出量削減目標が科学的な根拠と整合したものであることを認定する国際的なイニシアチブ。
- \*6 2025 年 3 月期における CO2 排出量削減率につきましては、環境証書(FIT 非化石証書)の取得による削減効果を含んでおりますが、当該削減量の算定に用いる FIT 補正率が未公表(2025 年 7 月頃公表予定)であるため、速報値として示しております。確定値は、FIT 補正率の公表後に、当社ウェブサイト等で公表いたします。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。  
経 営 企 画 本 部 ・ 嶋 田 ( T E L 0 6 - 4 7 9 3 - 1 0 9 0 )